

令和５年度 第２回 東京都北区おたがいさま地域創生会議 次第

令和６年３月１８日（月）午後３時３０分～
北とびあ ７Ｆ 第一研修室

I 開 会

II 委員紹介

III 議 題

1. 高齢者あんしんセンターにおける活動状況
 - (１) 令和５年度 地域ケア個別会議 開催状況について

2. 第１層生活支援コーディネーター活動状況
 - (１) 令和５年度 第１層生活支援コーディネーターの活動報告について

 - (２) 令和５年度 ３圏域地域包括ケア連絡会報告について

3. その他

IV 閉 会

資料１	委員名簿
資料２	東京都北区おたがいさま地域創生会議設置要綱
資料３	令和５年度 地域ケア個別会議開催状況について
資料４	令和５年度 第１層生活支援コーディネーターの活動報告
資料５	令和５年度 ３圏域地域包括ケア連絡会の報告について
資料５-１	赤羽圏域地域包括ケア連絡会報告
資料５-２	滝野川圏域地域包括ケア連絡会報告
資料５-３	王子圏域地域包括ケア連絡会報告

東京都北区おたがいさま地域創生会議委員

氏 名	備 考
藤原 佳典	学識経験者（東京都健康長寿医療センター研究所 副所長）
碓井 亘	東京都北区医師会代表
前田 茂	東京都北歯科医師会代表
阿藤 護	町会・自治会代表
荒川 正代	民生委員・児童委員代表
平井 孝明	地域活動（ボランティア）団体代表
小松 栄美子	商店街連合会代表
大場 栄作	介護サービス事業者代表
卜部 吉文	介護予防事業者代表
熊木 慶子	地域包括支援センター（生活支援コーディネーター）代表
小原 宗一	社会福祉協議会（地区担当者・生活支援コーディネーター）
長久保 雄司	シルバー人材センター事務局長
村野 重成	福祉部長
尾本 光祥	健康部長
寺田 雅夫	まちづくり部長

【事務局】

高齢福祉課長	関谷 幸子	地域福祉課長	長嶋 和宏
長寿支援課長	滝澤 麻子	介護保険課長	新井 好子
地域医療連携推進担当課長	佐藤 巳喜人		

28北福高第2771号
平成29年3月13日区長決裁

（設置）

第1条 高齢者、介護者及びその家族等が住み慣れた地域で安心して、自分らしい生活が続けることができるよう、地域包括ケアシステムを構築するため、介護保険法（平成9年法律第123号。以下「法」という。）第115条の48第1項に規定する会議（地域ケア推進会議）及び法第115条の45第2項第5号に規定する事業を推進するための会議（協議体）として、東京都北区おたがいさま地域創生会議（以下「創生会議」という。）を設置する。

（所掌事務）

第2条 創生会議の所掌事務は、次のとおりとする。

- （1）地域の情報共有及び連携強化の構築に関すること。
- （2）地域課題の発見及び解決に関すること。
- （3）地域の社会資源の集約及び活用に関すること。
- （4）生活支援体制整備のためのサービス資源の開発、人材育成及び人材確保に関すること。
- （5）前各号に掲げるもののほか、区長が必要と認めること。

2 創生会議で協議された事項は、必要に応じ区長に提言することができる。

（委員の構成）

第3条 創生会議は、区長が委嘱又は任命する委員をもって組織し、委員の構成は、別表のとおりとする。

（任期）

第4条 委員の任期は、前条の委嘱若しくは任命の日から3年を経過する日まで又は東京都北区介護保険条例（平成12年3月東京都北区条例第12号）第14条に規定する運営協議会の委員としての任期が満了する日のいずれか早い日までとする。ただし、任期中に別表の委員の職を離れたときは、委員の職を失うものとする。

2 委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 委員の再任は、妨げないものとする。

（会長及び副会長）

第5条 創生会議に会長及び副会長をそれぞれ1人置く。

2 会長は委員の互選によってこれを定め、副会長は委員のうち会長が指名する。

3 会長は、創生会議を代表し、会務を総理する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

（招集）

第6条 創生会議は、会長が招集し、会長は、会議の議長となる。

2 創生会議は、必要があると認めたときは、関係者の出席を求め、意見を聴くことができる。

（庶務）

第7条 創生会議の庶務は、福祉部高齢福祉課が処理する。

（委任）

第8条 この要綱に定めるもののほか必要な事項は、会長が別に定める。

付 則

この要綱は、平成29年3月13日から施行する。

付 則 （令和4年3月3日副区長専決3北福高第2686号）

この要綱は、令和4年4月1日から適用する。

別 表（第3条関係）

医師代表

歯科医師代表

学識経験者

町会・自治会代表

民生・児童委員代表

地域活動（ボランティア）団体代表

商店街連合会代表

介護サービス事業者代表

介護予防事業者代表

社会福祉協議会（地区担当者・生活支援コーディネーター）

地域包括支援センター（生活支援コーディネーター）代表

シルバー人材センター事務局長

福祉部長

健康部参事（地域保健担当）

まちづくり部長

令和5年度 地域ケア個別会議 開催状況について

「地域ケア個別会議」は、多職種協働により、①個別ケースの支援内容、②自立支援に資するケアマネジメントの支援や支援ネットワーク構築、③地域課題について、把握・検討を行う会議である。

個別会議で把握された地域課題は、高齢者あんしんセンターの活動の中で把握した課題と合わせ、日常生活圏域における共通課題として課題解決に向けた検討につなげる。

1. 地域ケア個別会議の種類

(1) 地域ケア個別会議

- 1 事例について 60～90 分、地域住民も参加し検討を行うもの。
各高齢者あんしんセンターで 2 事例以上取り組むこととしている。

(2) 介護予防のための地域ケア個別会議

- 1 事例 45 分で多職種専門職で検討を行うもの。
- 概要：対象者の「できること」「したいこと」、暮らす地域の活動やサポートなどの情報に着目して、「自立」「介護予防」について多職種で検討を行う。
 - 検討事例：要支援認定者・事業対象者 16 事例
 - 事例の提供：居宅介護支援事業所および高齢者あんしんセンターのケアプラン担当者
 - 助言者：主任ケアマネジャー、理学療法士、管理栄養士、訪問看護師

2. 開催実績（全体）

(1) 件数

	令和5年度（4～2月末）	令和4年度	令和3年度	令和2年度
件数	36（うち介護予防 16）	32（うち介護予防 14）	29	16

(2) 事例の世帯状況、認知症の有無（令和5年度 36 事例中）

世帯状況	対象者数	認知症の有無	
		あり	なし
独居	26	9	17
高齢者のみ世帯（配偶者、きょうだい）	5	1	4
配偶者、子との同居	5	3	2

(3) 参加居宅支援事業所数（北区内）（事例提供、助言者、傍聴）

38事業所

3. 会議であげられた課題と取り組みについて（今後の方向性）

(1) 地域ケア個別会議

①孤立、地域のつながり・見守り	
見守る人が孤立しないサポート体制づくり	・守秘義務にもとづく支援ネットワークの構築、継続 ・見守りのある人間関係は日頃のつながりの延長。 包容力のある地域づくり ・携帯電話しかもたない高齢者の増加（区の緊急通報システムを利用できない） ・オートロックマンション居住者の見守り
ケアマネジャーや支援機関が業務範囲をこえて対応	・ケアマネジャー支援の体制づくり

②地域の活動づくり・活動へのつなぎ	
1人でも気軽に立ち寄れる場づくり、しくみづくり	・公園など活動が見えやすい場 ・本人の趣味・特技の把握 ・趣味活動の場の情報収集（隣接区も含め）
男性の居場所づくり	・参加している男性から参加に関する要因など特性を把握する
地域内に活動はあるが、知られていない	・サロン、自主グループ活動の情報発信、見える化、周知
歩行補助具を使ってバスに乗ることが意外と難しい	・公共交通機関への理解や支援の依頼 ・散歩や買い物に行く途中で休憩できる場所の把握、見える化、ベンチ等の設置

③訪問系のインフォーマルサービス・サポート	
人と交流したい気持ちはあるが、介護度が高く外出困難	・お弁当ご一緒サービスの再開 ・訪問による傾聴ボランティア
外へ出て活動に参加する意欲が低い人への働きかけ	

④その他	
外国人高齢者の増加への対応	・外国語に対応できる事業所情報、機器類の補助 ・翻訳機、翻訳アプリの利用方法、ITリテラシーを本人、支援者が学ぶ機会
認知症初期の段階で本人、周囲の人が気づけるとよい	・気づきの機会づくり ・健診時に認知症に関するチェック

（２）介護予防のための地域ケア個別会議

①栄養・歯科相談ができる先の情報	
利用者、家族、支援者が気軽に相談できる先があるとよい	・個別会議を通じて認定栄養ケア・ステーションの情報や連携について整理、伝達 ・事業への専門職派遣の場の活用

②すでにある事業へのつなぎ	
・本人の不活発な生活状況があるが意欲向上への支援が難しい ・状態は改善しているが、交流の場としてデイサービス利用が続いている	・通所型短期集中予防サービス事業の活用 ・地域にある活動の場へのつなぎ
本人（軽度認知症のような状態像）を介護する家族の支援	・家族介護者の支援も含め、認知症初期集中支援事業へのつなぎを検討

令和5年度 第2回 おたがいさま地域創生会議

北区社会福祉協議会

第1層生活支援コーディネーター 菅野 彩子

令和5年度 第1層生活支援コーディネーター活動報告

- 1 第2層生活支援コーディネーターに対するヒアリングの実施
- 2 活動目標の共有と行動記録(数字の見える化)
- 3 生活支援の担い手の養成と居場所づくり支援
- 4 生活支援コーディネーターに対する研修などの実施
- 5 多様な協議の場の立ち上げ・運営支援

協議体・協議の場とは...

協議体の目的・役割等について

設置目的

生活支援・介護予防サービスの体制整備に向けて、多様なサービス提供主体の参画が求められることから、**市町村が主体**となつて、「**定期的な情報の共有・連携強化の場**」として**設置する**ことにより、多様な主体間の情報共有及び連携・協働による資源開発等を推進する。

役割

- コーディネーターの組織的な補完
- 地域ニーズの把握、情報の見える化の推進（アンケート調査やマッピング等の実施）
- 企画、立案、方針策定を行う場
- 地域づくりにおける意識の統一を図る場
- 情報交換の場、働きかけの場

具体例

- ・地域の課題についての問題提起
 - ・課題に対する取組の具体的協力依頼
 - ・他団体の参加依頼
- （A団体単独では不可能なこともB団体が協力することで可能になることもある）

5 多様な協議の場・居場所づくり支援

令和4年度～ 第2層生活支援コーディネーターが地域住民とともに取り組んでいる協議の場

<令和4年度>

継続的な協議の場の立ち上げ	・あゆみの会たちあげ ・しげんカフェ協議体(仮)たちあげ ・豊島5丁目団地地域ケア会議(仮)たちあげ
協議の場運営支援	・志茂ジェネ協議会 ・めぐりやを中心とした協議体 ・しゅりるを中心とした協議体 ※このほか包括主催ではないがメンバーとして参加している協議会も多数あり
継続の悩み・今後の方向性の検討	・赤北さんさんミーティング ・桐ヶ丘協議会



<令和5年度>

継続的な協議の場 令和5年度にたちあげ (準備会議含む)	・研究所で伴走支援している活動の場等についての話し合いの場 （赤羽・堀船・神谷・十条・十条台・王子…等） ・桐ヶ丘西地区おしゃべり会 ・豊島6・7 おたがいさまの町づくり懇談会
協議の場運営支援	・志茂四あゆみの会 ・浮間・赤羽北協議体 （(元)しげんカフェ協議体） ・カムカム健康とよ5男子 ・志茂ジェネ協議会 ・赤羽岩淵しゅりるを中心とした協議体 ・赤北さんさんミーティング ・桐活((元)桐ヶ丘協議体)

...等

協議の場での活動事例 ～赤北さんさんミーティング～



赤羽北3丁目地域状況について



【人口割合】	5,507人
年少	636人(12%)
生産年齢	3,316人(60%)
高齢者	1,555人(28%)
内、75歳以上は847人	
北区全域と比較すると年少人口と高齢者人口が2～3%高く、生産年齢人口が約5%低い	

【地域状況】

- ・最寄り駅から見て高台にある
- ・地域内に買い物できる場所が少ない
- ・駅までの交通はバスが頼り
→特に虚弱高齢者にとって課題となっている

- 飲食店
(蕎麦屋、中華屋、喫茶店)
- 買い物ができる店舗
(コンビニ、ミニスーパー、弁当屋)

赤羽北3丁目の「地域資源」について

特別養護老ホーム
赤羽北さくら荘
定員144人

シルバーピア赤羽北
高齢者専用共同住宅
単身75戸

東京メガシティ
総戸数863戸
大型マンション



諏訪神社の氏子
お祭り等を通して、独自のつながりがある

シニアクラブ
2クラブが町会の垣根を越えて活発に活動

都立桐ヶ丘高等学校
ボランティア・福祉を学習するコースもあり

地域ささえあい活動団体
食事会、茶話会、お楽しみ企画等を定期的に行う

赤北マルシェのなりたち

新しくできた赤羽北さくら荘、シルバーピアエリアをモデル地域に選定し、地域の課題共有、既存の地域資源の整理・確認を行い、必要な生活支援サービス創出を目指した

⇒平成30年10月～ 赤北さんさんミーティング

地域の状況から「買い物難民」「移動難民」が課題となっている

⇒地元の障がい者施設、赤羽北高齢者あんしんセンターが協力をして平成30年11月～赤北マルシェの開催

現在はこの2つが軸となって「赤北さんさんミーティング」メンバーで検討会を行い、マルシェの開催をしている。

赤北さんさんミーティングメンバーについて

◆2か所の高齢者あんしんセンターが管轄する地域。

- ・コアメンバーは赤羽北・桐ヶ丘やまぶき荘、両高齢者あんしんセンターの2層生活支援コーディネーター
- ・北社協の1層生活支援コーディネーターとコミュニティソーシャルワーカー。
- ・赤北マルシェの発起人でもあるさざんかの会（障がい者施設での商品の販売）

◆地元の自治会・民生委員・商店・ささえあい団体・病院・福祉作業所も参加。

◆地域で手作り作品を作っている団体、学生ボランティアなども。赤北マルシェで販売・参加するメンバーは、ミーティングメンバーにもなっている。

赤北マルシェ振り返り



平成30年8月から打ち合わせを重ね、11月に初めて開催！
当時は赤北さくら荘でコーヒーも飲んで、みんなでおしゃべりもできました



平成30年10月から、赤北3さんミーティングもスタート！「災害」「地域の居場所づくり」など、身近な地域課題の検討もしてきました。



コロナの影響でしばらくお休みでしたが、令和3年12月に再開。
あわせて、毎週木曜日の10:30～公園での体操もスタートしました。
ここから参加団体もお客さんも一気に増えていきましたね～



協議体の変遷

【立ち上げ期】平成30年～

- ・支援者による伴走
 - ・様々な地域課題があり方向性が絞り切れず
 - ・ミーティングとイベント開催が両輪となったため、メンバーの負担感
- ⇒令和2年～新型ウィルス蔓延により休止



【復活期】令和3年～

- ・あおぞら体操の開始
- ・体操と連動しイベントが復活
- ・職員の交代



協議体の変遷

【悩み期】令和4年～

- ・職員交代をうけて方向性の整理
- ・開催回数や話し合う内容の見直し
- ・「地元」+「出張」をくみあわせ地域を元気にする活動としての位置づけ



【みんなで考える期】令和5年～

- ・情報の共有⇒LINE活用
- ・広報の協力⇒参加団体で広報
- ・もっと地元のたくさんの人に楽しんでもらえるよう、メンバー以外の社会資源にも相談
- ⇒シルバーピア・住宅課へ協力依頼の相談
- ・若い世代へ協力依頼
- ⇒東洋大学へ依頼し、スマホ講座などのボランティア募集



赤北さんさんミーティングによって...

- ・「赤北マルシェ」を一緒に作っていく過程で、「自分たちのできること」「やりたいこと」「困っている事」が自然と話し合える関係性に

＝住民主体の自己実現の場・住民目線での企画、立案の場

- ・お互い助け合える関係が築けたことで、「新たな仲間を巻き込もう」という動きも出てきた。

＝新たな社会資源の開拓、働きかけの場

- ・高齢者のスマホ問題、シルバーピアと地域の住民がつながる仕組みづくりなど、住民ならではのアイデアで地域課題へアプローチ

＝地域課題へのアプローチ

地域包括ケア連絡会も「協議体」として「情報交換の場」「働きかけの場」等の機能を持っている



赤羽圏域 『地域のつながりを広げよう』～出会い つながり そして一緒に～

- ・ **地域で活動している団体×大学生**

- ・ 6グループにわかれ、地域も学生も参加しやすい交流イベントを計画。
- ・ 大学の先生方からは「単発のイベント『点』であっても継続して行うことで、地域に根ざした『線』となる活動になることがわかった」という講評をいただく。



滝野川圏域 『その人らしい地域とのつながりを見つけよう partⅡ』

～ちょっとした出会いから生まれるつながり～

- ・ **フォーマルな社会資源×インフォーマルな社会資源**

- ・ 介護保険だけでは補えない地域ならではのつながりの重要性に焦点を当て、フォーマル・インフォーマルの垣根を超え意見交換。
- ・ そこから新たな社会資源として「まちなかのベンチ」が増えている。



王子圏域 『地域のつながりの大切さpartⅣ』～孤立せず暮らすには～

- ・ **高齢者あんしんセンター×地域のミドル世代(50代～前期高齢者)**

- ・ 認知症すごろくや社会資源の紹介も行い、高齢者あんしんセンターの広報啓発も行った。
- ・ 意識の高い方が多く、あんしんセンターとだけでなく、新たな横の関係作りにも一役買っていた。

生活支援体制整備事業 第2層生活支援コーディネーター 活動報告 (令和5年度②)

令和5年度より、地域の方々にも2層生活支援コーディネーターの活動が少しでも見えるよう、社会福祉協議会の Facebook にて活動報告を行っています。今回はこれまでに掲載した記事まとめ（抜粋版）を作成しました。

【北区体制整備事業活動報告～浮間エリア編 「浮間・赤羽北協議体」】

浮間ふれあい館周辺には5つの社会福祉法人や NPO 法人が活躍しています。令和3年度よりさらに新しく NPO 法人わくわくかんさんが「しげん café わくわく」を開いたことも受け、高齢・障害・こどもと様々な分野の6つの法人での連絡会が開かれるようになりました。

「それぞれの法人の強みは？」「自分たちの法人で地域のために行っていること」などを情報共有しながら、「今後地域のために連携して何かできないか？」という話し合いもすすめています。分野を超えたネットワークは、これからの浮間地区の大きな力になりそうですね。



【北区体制整備事業活動報告～飛鳥晴山苑エリア編「暮らしのなんでも相談会」】

北区は4つの区（豊島区・板橋区・文京区・荒川区）に接しています。それぞれの区で福祉サービスや相談窓口は少しずつ違いがあるのですが、それは住んでいる人にとっては困ったときに初めて知ること。区境にお住まいの方は「本当は隣の区の相談窓口のほうが近いのに…」という経験があるかもしれません。

染井銀座商店街エリアも豊島区と北区がまたがっているエリアのため、豊島区民社会福祉協議会さんと飛鳥晴山苑高齢者あんしんセンターさんとタッグを組み、毎月第3金曜日の14時～15時に「暮らしのなんでも相談会 in 染井銀座サービスセンター」

をやっています。「スマホの使い方教えてほしい」「ちょっと散歩がてらお話ししたいな」など、世代問わず無料相談にのってくれるそうです。特に相談がない時は、「地域の素敵なもののマップ」を通りかかった皆さんと一緒に作成中。お近くの方は、ぜひ一度のぞいてみてください＞次回は8月18日（金）14時～染井銀座サービスセンター（豊島区駒込6-28-8）でやってま～す！



【北区体制整備事業活動報告～生活支援コーディネーター研修編 「認知症すごろく」】



生活支援コーディネーターの仕事は、地域の方々と話し合いをしながら、一緒に高齢者の生活支援・介護予防の基盤を整えることを目的としています。ですが、いざ「地域課題について話し合いましょう」と言うのも、なかなかきっかけが難しくハードルも高いもの。

茨城県水戸市では①認知症を楽しく学ぶ②ゲームを通して地域の認知症ネットワーク化の推進③啓発活動にも使えるツールとして「認知症すごろく」が活用されています。このたびご縁があり、作成した水戸市東部高齢者支援センターの方々に北区までお越しいただき、作成からその後の広がり

について学ぶ研修を開催しました。まずは、職員もすごろく体験から。この認知症すごろく自体も、地域の方々と意見交換を通して一緒に作成をしていったそうです。途中に「脳トレ」や「介護予防体操」も入り、研修なのに、おもわず笑顔がこぼれます。

北区でも活用していけるよう、これから検討も重ねていく予定です。興味のある方はぜひ北区社会福祉協議会や高齢者あんしんセンターの生活支援コーディネーターまでお声掛けください！

【北区体制整備事業活動報告～十条台エリア編 「介護予防リーダーの会」】

先日、生活支援コーディネーター研修で学び体験した「認知症すごろく」

これを地域に広げる第一歩目として、今回は北区全域で介護予防推進のため活躍していただいている「介護予防リーダーの会」の方々に体験をしてもらいました。

短い時間での「体験」となりましたが、普段から介護予防活動に熱心なみなさん、グループも盛り上がり、すごろくのマスに書いてある脳トレや介護予防体操にも熱心に取り組んでいます。「北区の様々なサロンで活用していきたい」「楽しくて勉強になる」とたくさんご意見もいただきました。

今後、北区でもたくさん活用していけるよう、検討も重ねていく予定です。



生活支援体制整備事業 第2層生活支援コーディネーター 活動報告
(令和5年度③)

【北区体制整備事業活動報告～飛鳥晴山苑エリア編 「北区ベンチプロジェクト」】

昨年度滝野川エリアで行った地域包括ケア連絡会の中で、「町のベンチ」が話題になりました。老若男女、買い物やちょっと疲れたときに「ベンチ」があると安心。そして町中にあると、そこが井戸端会議のできる地域のちょっとした居場所になる。買い物に行く途中に一つベンチがあるだけで、がんばって買い物に行く気持ちがわいてくる…という話です。おとなりの豊島区では「としまベンチプロジェクト」として地域の様々な場所に置いているとか。

そんな話を聞いて、連絡会に参加していたたばこま訪問看護ステーションさんが「たばこま訪問看護ステーションでベンチを寄付できますよ」声を上げてくれました。飛鳥晴山苑の生活支援コーディネーターが間に入り、このたび西ヶ原郵便局さんの賛同を得て設置する運びとなりました。

さっそくおかれたベンチ、かわいいですね。夜間はしまえるようにコンパクト設計になっているそうです。みなさんの想いのご協力で生まれたベンチ。これからも滝野川エリアで地域の方々とお話を進めながら推進していけるよう頑張っていきます。



【北区体制整備事業活動報告～男性の居場所編】



みなさんのご自宅に眠っているレコードはありませんか？

最近また「音がいい」「エモい」と注目されつつあるレコードですが、ぷらっとほーむ滝野川東にはレコードプレイヤーがあるのです。長野県ではそんなレコードプレイヤーを活用し、レコードとその曲にまつわる思い出を語る会「おとはこ」が流行っているのだそう。

そんな話を聞いて、音楽にこだわりのある男性たちが気軽に集まれる場「レコードを楽しむ会」を開催いたしました。

当日は男性の方々8名が参加。なつかしい音楽をかけながら、青春時代の思い出や好きな音楽のジャンルなどよみがえります。ビートルズ、ジャズ、帰ってきたよっばらい(?)、etc…。曲をかける際には一言曲にまつわる思い出エピソードトークも添えられ、そのころの懐かしい思い出も一緒に味わえました。

せっかくのレコードプレイヤーなので、今後も活用の機会をぜひ地域の皆さんと検討したいです。「レコードを楽しむ会」へのご意見、活動参加ご希望の方は北区社会福祉協議会地域福祉係までご連絡ください。

【北区体制整備事業活動報告～新町光陽苑エリア編 「輪投げ交流会」】

コロナ禍の間シニアクラブの活動も、自粛や休止などの影響を受けたところが多くありました。新町光陽苑エリアでは、そんな地域のシニアクラブがコロナに負けず元気に活動できるように、活動の悩みや取り組んでみたいことを話し合う情報交換会を定期的を開催しています。

夏の情報交換会ではエリアにある新町コミュニティアリーナが改修工事で一部使えなくなるため、輪投げが盛んなシニアクラブでは場所の取り合いになる懸念などが話されていました。そんな中で「みんなで交流しながら合同で練習会でできて楽しいのでは？」という、ピンチをチャンスに変える素敵な意見が！

先日6つのシニアクラブの皆さんで力を合わせ「東田端地域輪投げ交流会」を開催されたそうです。

新町光陽苑高齢者あんしんセンターの生活支援コーディネーターが調整役に入り、役割分担も皆さんで話しあって1団体1チーム参加、人数制限なく自由参加で開催されたそう。

たくさんの方々が試合形式で交流されていて楽しそうですね。このような「ちょっとしたお困りごとを考える話し合い」「地域を元気にする話し合い」を生活支援コーディネーターは地域でたくさん開催していますよ。



【北区体制整備事業活動報告～みずべの苑エリア編「防災力をつけてイケオジになろう」】

北区では災害時にかまどとして活用できる「かまどベンチ」を設置した防災公園が増えてきました。でも実際に「かまど」を活用したことはなかなかないのではないのでしょうか。

そんな着眼点から志茂ジェネ協議会では、志茂エリアの公園を順番で回り、かまどベンチを活用した焚火体験会を行おうと企画されています。

以前から協議会の中で「男性の地域活動参加が少なくて心配」という声があったことも影響し、イベント名も「防災力をつけてイケオジになろう」に決定（笑）これは焚火経験豊富な男性の皆様に力も借りて、男性同士の交流の機会にしませんか？という意味合いも込められています。

写真の通り、ベンチがパカッと開きかまどが登場。長いこと使われていなかったのも、落ち葉やごみなどいろんなものが挟まっており、事前に掃除もされたそうです。いつ起こるかわからない災害。地域の方々と協力して考えていくことが、いざという時の備えになりますね。



令和6年3月18日(月)

令和5年度 おたがいさま地域創生会議

資料5-1

令和5年度 赤羽圏域 地域包括ケア連絡会

東十条・神谷高齢者あんしんセンター
西が丘園高齢者あんしんセンター
みずべの苑高齢者あんしんセンター
赤羽北高齢者あんしんセンター
赤羽北高齢者あんしんセンター
浮間高高齢者あんしんセンター
桐ヶ丘やまぶき荘高齢者あんしんセンター

協力：北区社会福祉協議会

第1層 生活支援コーディネーター

赤羽圏域地域包括ケア連絡会

地域のつながりを広げよう

出会い

つながり

そして一緒に



2023. 12. 23

令和3年度「出会い」～お見合い大作戦～



令和4年度「つながり」～知ることから始まる縁～



国際交流宿舎 (AI-House HUB-4)を見学



地域活動団体と東洋大学学生による交流会



令和5年度「出会い つながり そして一緒に」



連絡会の概要

- ・開催日時：令和5年12月23日（土） 10:00～11:30
- ・会場：赤羽会館 大ホール
- ・テーマ：「地域のつながりを広げよう」
～出会い つながり そして一緒に～
- ・参加者：48名
地域の団体19名 学生8名 先生2名
北区社会福祉協議会2名 北区区役所9名
赤羽圏域地域包括支援センター8名

連絡会の内容

1. 開会のあいさつ
2. 趣旨・経緯の説明
3. グループワーク
「交流イベントの企画案」作成
4. 投票
5. 結果発表
6. 総評
7. 閉会の挨拶
8. アンケート記入

企画書の内容

- ・ イベント名
- ・ 具体的な内容
- ・ 開催時期
- ・ 場所
- ・ 周知方法



投票タイム

それぞれの企画書を見て
「いいな」と思ったところに、
チューリップの折り紙を
貼ってください

* 自分のグループには投票しないでね



A グループ

地域の方と学生が知り合うための交流イベント企画

イベント名	四季の集い
具体的な内容	交流イベント(季節ごと) 春: お花見 夏: 夏祭り(盆踊り・花火) 秋: 運動会・文化祭(大学) 冬: クリスマス会 他: カレー・ポチャ など身体を動かす 認知症すころく ポイント 参加費無料 お菓子など食べながら楽しくおしゃべり 色々な人が参加できるように色々な場所を
いつ頃	曜日: 季節ごと その都度決める 時間帯: 10:00 ~ 16:00 (入退場自由)
場所	色々な場所で
周知方法	地区ニュース・口コミ・ポスター・SNS

B グループ

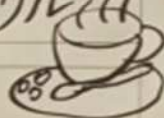
地域の方と学生が知り合うための交流イベント企画

イベント名	生中継 ~ 〇〇 ~
具体的な内容	シリーズ企画 ・現地集合 or Zoom参加 ・ワークショップ + お店紹介 「アポイント - 一緒に食べ歩き」 ・体操 ・昔あそび ・学校案内(学食) ポイント 企画を一緒に
いつ頃	曜日: 平日 企画ごとに変更有 時間帯: 13:00 ~
場所	赤羽駅周辺 + ふゆあき館
周知方法	東洋大学アプリ(お知らせ) / 掲示板 インスタ・X

C グループ

地域の方と学生が知り合うための交流イベント企画

イベント名 赤羽キャンパスティーサークル



具体的な
内容

食堂

- ・スマホ講座
- ・お茶会

・ホッチャ(室内スポーツ)
(夢は地域の人と学生が
ホッチャサークル創設)

ポイント 大学と地域の交流

いつ頃

曜日: 大学と要相談. 平日 昼時以外
時間帯: 10 ~ 15 ~

場所

東洋大学の食堂

周知方法

口コミ(チラシ)回覧・掲示板
Instagram SNS

6

D グループ

地域の方と学生が知り合うための交流イベント企画

イベント名 赤羽^{食大}運動会

具体的な
内容

- ・玉入れ
- ・さくら体操
- ・スポン競走
- ・大玉ころかし
- ・買い物競走
- ・手話ダンス
- ・参加者にお土産あり (サブ屋あかし)

・くじて
グループ分け

ポイント 多世代が負担なく
参加できて楽しめる

いつ頃

曜日: 土, 日, 祝
時間帯: AM

場所

東洋大学 ハルスポホール

周知方法

SNS, ゼミの紹介, 口コミ, (北区コース)

5

E グループ

地域の方と学生が知り合うための交流イベント企画

イベント名 成りだくさんフェスティバル

具体的な内容

- 手作りコーナー
 - ・根っ子作り
 - ・布ぞうり作り
 - ・おり紙
- 演奏
 - ・生バンド
 - ・カラオケ
- 体操コーナー
 - ・近所体操
 - ・さくら体操
- お茶コーナー
 - ・のみもの
 - ・焼きそば
 - ・かき氷
- 盆踊り
- ポイント
 - ・スタンプラリー

いつ頃
曜日: 土・日
時間帯: 13:00 ~ 16:00

場所 公園

周知方法 クラシエ作り2ヶ月前から配布

③

F グループ

地域の方と学生が知り合うための交流イベント企画

イベント名 昔はがらの子どもあそび & スタンプラリー

具体的な内容

対象: 地域高齢者、子ども、子育て世代

場所: 公園と地域

内容: 〇子どもと親を対象に地域高齢者とバザー、Xマニアと一緒に遊び、伝承について、地域をまわって地域へのを知るきっかけを作る。チャウポイントで高齢者とふれあう

ポイント 多世代交流

いつ頃
曜日: 土・日曜日
時間帯: 午前、午後

場所 地域の公園を中心とした一帯 (学校内可)

周知方法 クラシエ!

⑤

先生からの総評

地域には、孤立を防ぐという課題がある。季節を感じられるイベントは、高齢者も学生も参加しやすい。

一緒に活動するなかで学生は高齢者から歴史や伝統を学ぶことができ、また、高齢者は学生が持っている知識や技術を地域に活かせることができるのではないか。

今の学生は学業の他、アルバイトやサークル活動など忙しい。地域に出て活動してもらいたいが時間がない。交流イベントを学食などの大学構内で行うと学生も参加しやすくなる。地域の方も大学に行くという特別な体験ができる。

参加者からの感想

地域の方

- ・東洋大学学生と交流できて有意義だった。
- ・何でもよいのでお手伝いできたらと思う。
- ・お花見とか体操とか体を動かすことなら参加したい。
- ・飲食の販売や自主製品の販売なら協力できる。
- ・学生さんも含めていろいろな人と会うことが元気の源。
- ・大学が近くにあるというアドバンテージを活かして地域の活性化を図れると感じた。
- ・学生さんたちがキラキラしていた。わくわく感に出会える北区でありますように！！

参加者からの感想

東洋大学生

- ・企画自体参加できる。
- ・手話サークルなどのサークルを通して関われるかも。
- ・SNSやポスター作りなど周知活動。
- ・東洋大学の学生に期待をかけてもらいうれしい。
- ・地域の活動を知ることができてうれしい。
- ・各グループの企画案をみて視野が広がった。
- ・同グループの方に活動に参加させてもらうこととなり楽しみ。

今後の展開

地域の団体と学生との交流イベント開催



地域の方と学生に定期的に集まり一緒に
イベントについて話し合う



東洋大学ボランティア支援室に学生の参加
や会場のついて相談

令和5年度 滝野川圏域地域包括ケア連絡会

令和5年11月15日(水) 開催

滝野川西高齢者あんしんセンター
飛鳥晴山苑高齢者あんしんセンター
滝野川はくちょう高齢者あんしんセンター
昭和町・堀船高齢者あんしんセンター
新町光陽苑高齢者あんしんセンター

協力: 北区社会福祉協議会

令和5年度のテーマ

「その人らしい地域とのつながりを見つけよう！ part II」 ～ちょっとした出会いから生まれるつながり～

テーマには「地域の多様な立場の人が『我が事』として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて『丸ごと』つながること」という地域共生社会実現の意味が含まれている。

設定の内容

4年度は地域ならではのつながりの重要性に焦点を当て、フォーマル・インフォーマルの垣根を超え意見交換を行った。
5年度は、その結果生まれた2つの事例を地域の方々から紹介してもらい、さらに多様なつながりを推進していくネットワーク会議を行った。

参加団体

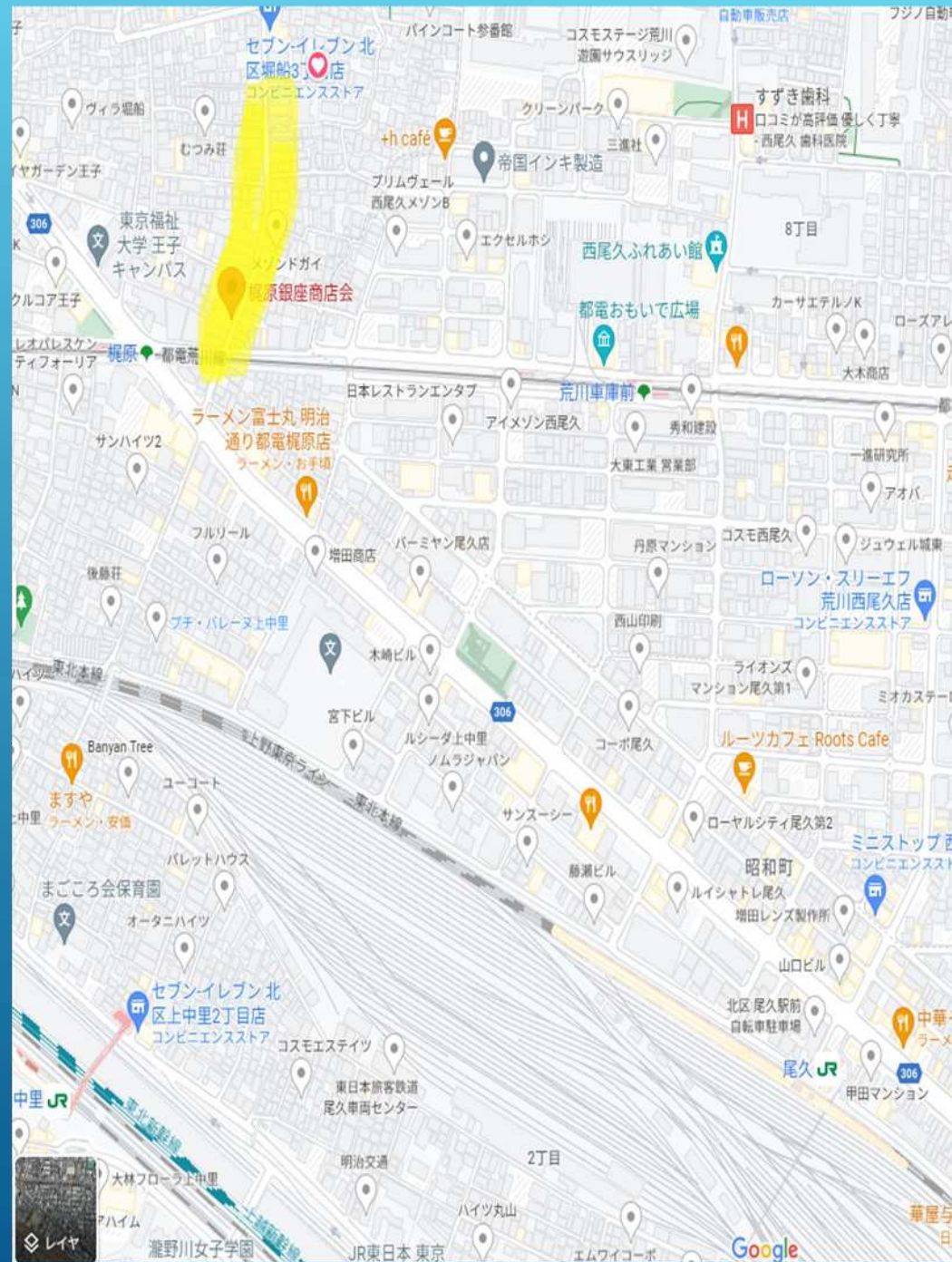
- ・高齢、障害、児童、企業・商店など多様な分野（シニアクラブ、町会自治会、自主グループ、障害センター、障害団体、児童館、介護保険事業者、警察署、金融機関、銭湯）
- ・フォーマル・インフォーマルの団体の方々32名が出席

事例

- ①地域協働して行うマルシェ
- ②ベンチプロジェクト

尾久駅と上中里駅の間の買い物困難エリア

尾久駅の周辺エリア
梶原銀座商店会さんでは
昔ながらのお店が
少しずつ減って来ていた



梶原銀座商店会の様子を受けて 東京ふれあい生協の活動

2022年

4月頃

梶原商店街に八百屋（クロナチュール）の
移動販売を開始（第二・四水曜日）

7月頃

コープデリイベント担当の方が梶原商店街内
でイベントができる場所を探していたため、
事務所前にて不定期にて開催

9月頃

昭和町・堀船高齢者あんしんセンターの生活支
援コーディネーターと合同で、上中里貝塚地域
にてマルシェ開催の準備を進める

買い物不便エリアにどのようにア
プローチできるかを模索



抱えていたお互いの課題を共有し 貝塚マルシェ開催

★マルシェ開催だけでは、買い物困難対策には
ならないが、これをきっかけに地域全体で問題
を共有できれば...と

＜参加団体＞

- ・ 貝塚町会
- ・ 障害者施設
- ・ 中央自治会
- ・ 社会福祉協議会
- ・ 花屋
- ・ 高齢者あんしんセンター
- ・ 八百屋
- ・ 菓子店
- ・ 弁当屋



そして貝塚マルシェ開催後も...

貝塚マルシェに参加した
社会福祉法人ドリームヴィ
運営の「スワンベーカーリー」と
買い物困難エリアとしての
地域課題を共有

2月よりドリームヴィさん協力
によりパンの販売を開始。

パン屋がないこの地域の方に
大変喜んでいただいている



事例②

「ベンチプロジェクト」

昨年度の連絡会

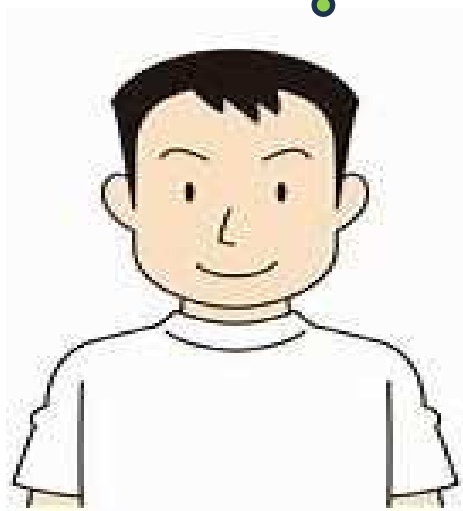


高齢者の方が休むベンチがないんですよね～！！

- ・買い物に出かけるきっかけになる
- ・高齢者だけでなく、皆がひと休み出来る
- ・まちにベンチを置くことで生まれる
小さなコミュニティが期待できる

「地域にベンチの置き場所ないかな～。
ベンチは、用意できます！！」

どこに設置する
といいだろう？
両方で相談。



たばこま訪問看護ステーションの田畑さん



高齢者あんしんセンター

西ヶ原エ
リア



西ヶ原エ
リア



この辺りにベンチがあるとい
いな..

滝野川エ
リア



西ヶ原エ
リア



チラシを作ってみました。



(たばこま訪問看護ステーション&飛鳥晴山苑高齢者あんしんセンターベンチプロジェクト)
問い合わせ担当:飛鳥晴山苑高齢者あんしんセンター 武居 03-3940-9175

ちょっと「ベンチ」を置いてみませんか？

私たちの住んでいる街を、改めて見渡してみると実際にベンチがないことに気が付きました。高齢者の方が多く住む街では、外出したいけど「ちょっと一休みが出来る場所がないから。」と家にこもってしまう方も多くいらっしゃいます。街にベンチがあれば、外出する機会が増えたり、歩行距離が増えたりと街に暮らす人々の健康にも大きく影響します。お店の前や空いてるスペースに「ベンチ」を置いてみませんか？

西ヶ原四郵便局



令和5年9月19日
第1号ベンチ設置

毎日新聞（滝野川）



令和5年9月26日
第2号ベンチ設置



グループワーク 情報・意見交換

具体的な感想・意見



- ・さまざまな立場の方と交流ができて良かった。
- ・普段関りの少ない職種や、地域の方の具体的な話が聞けて、とても参考になった。
- ・立場上、お役所的に物事に線引きすることも多々あるが、今後も協力体制が取れたら良い。
- ・多分野の方が集まり意見交換、情報提供する機会を定期的 to 実施することが必要だと思う。

今後の活動でやってみたいこと、地域力を高めるために必要なこと

- ・気軽に集まれる場所
- ・町のあちこちにベンチのような休憩場所が必要
- ・今日のグループで地域づくりをしたい。いろいろな立場の人が集まり、さまざまなプログラム、イベントを地域で行いたい。
- ・過程を通して新たなつながりが生まれると思う。
- ・ベンチプロジェクトが今後も必要だと思った。
- ・狭い地域にコミュニティバスをお願いしたい。
- ・人を思いやるやさしい地域が必要だと感じた。
- ・児童、高齢、障害の垣根を超えた交流。

まとめ

- ・事例に触発され、「地域ベンチ」「地域で協働して行うマルシェ」を実現したい、こんな活動ができるかもという新たな発想での意見交換がなされた。そこで出た意見の実現を見すえて、すでに滝野川圏域で勉強会等が行われている。

今後連絡会で取り上げてほしい テーマ

- ・障害をもった方とのかかわりについてもっと深めたい
- ・地域の居場所づくりについて
- ・災害時にも協力できる地域づくりについて
- ・具体的なイベントの立ち上げ



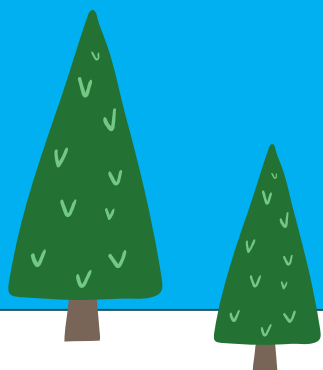
他区の先行事例「としまベンチプロジェクト」勉強会

令和5年度 おたがいさま地域創生会議

(令和6年3月18日)

王子圏域地域包括ケア連絡会 報告 「地域のつながりの大切さPartⅣ ～孤立せず暮らすには～」

十条台高齢者あんしんセンター
十条高齢者あんしんセンター
東十条・神谷高齢者あんしんセンター
昭和町・堀船高齢者あんしんセンター
王子光照苑高齢者あんしんセンター
豊島高齢者あんしんセンター
協力：北区社会福祉協議会



これまでの王子圏地域包括ケア連絡会のテーマ

令和2年	地域のつながりの大切さ ～コロナに負けない地域づくり～	・地域力強化の必要性の再認識 ・参加者間のつながりが生まれた
令和3年	地域のつながりの大切さPartⅡ ～小さな活動から元気を～	・コロナ禍の中、活動を継続した団体の《共通点》①ニーズを把握する力②判断力がある③工夫・企画力がある 《コツ》①できることをやる②過重な負担がない③強制されず楽しい
令和4年	地域のつながりの大切さPartⅢ ～孤立をささえるコツ～	・孤立事例やDVDより孤立防止のためにできることの意見交換 ・ごみ捨て、挨拶、声かけ等の意見多数 ・日頃からのつながりの大切さを確認

王子圏域地域包括ケア連絡会

『地域のつながりの大切さPartⅣ ～孤立せず暮らすには～』

開催：令和5年10月24日（火） 14：00～15：30

参加者：23名参加（自治会役員、民生委員、自主グループ等）

※ミドル世代（50歳代～個別に声かけ）

- 1.認知症すごろく体験会
- 2.社会資源の案内
- 3.事例紹介
- 4.グループワーク
- 5.発表

認知症456 体験会

・この「すごろく」は、認知症の方が、
どういう経過をたどるのかその時々
どのような行動をとればいいのか等を、
楽しく学んでいきます。

(すごろくは水戸市作成)



北区のいきがい活動・集いの場



就 労

シルバー人材センター (認P.13)

ハローワーク (認P.13)

くらしとしごと相談センター

体 操・運 動

ご近所体操教室 (笑P.10・認P.14)

介護予防で元気はつらつサロン (笑p.11)

通いの場立上げ教室 (笑P.9)

筋力アップ体操教室 (笑P.9)

あるきた

きらりあ北 (認P.14)

シニアクラブ (笑P.14) ぷらっとほーむ (笑P.10・認P.14)

サ ポ ー タ ー ・ ボ ラ ン テ ィ ア

ボランティアぷらざ

傾聴ボランティア

有償ボランティア〈友愛ホームサービス〉 (認P.15)

介護予防リーダー (笑P.11)

いきいきサポーター (笑P.12)

認知症サポーター (笑P.15・認P.15・P.20)

こんちゃんサポーター (笑P.15・認P.15・P.20)



いこいの家 (認P.14)

自主グループ活動 (笑P.8・認P.13)

ふれあい交流サロン (認P.14)

ふれあい食事会 (笑P.13・認P.14)

認知症カフェ「オレンジカフェきたい～な」
(笑P.15・認P.14・P.18・P.19)

集 い の 場

笑：笑顔で長生きガイドブック

認：認知症あんしんなび

北区の見守り・支えあい

おたがいさまネットワーク登録

企業・商店・コンビニ・町会 笑P.12
病院・薬局・介護事業所など 認P.15



近隣・友人
町会・自治会による
個別見守り
民生委員 認P.15
シニアクラブ（友愛訪問）
大 家
不動産屋
高齢者あんしんセンター



おたがいさま声かけサービス 笑P.12・認P.15
一人ぐらし定期訪問 笑P.12
ごみ訪問収集（清掃事務所） 認P.15
緊急通報システム 認P.15
災害時要支援者名簿登録

認知症サポーター 認P.20

認知症サポート店 認P.15・P.22

新聞販売店
宅配サービス
薬 局
医療機関
消 防 署
消費生活センター
警 察
区役所



登録制

笑：笑顔で長生きガイドブック

認：認知症あんしんなび

事例紹介

もう少し前に、
関わることがで
きたら・・・？

- ・ 90歳代女性、一人暮らし
- ・ 糖尿病があるため、かかりつけ医へかかっていたが、ある時から通院に来なくなると医療機関より連絡が入る。
- ・ 訪問すると自宅内は、物が散乱している状態。
⇒介護保険の申請を提案する。



- ・ 本人が支援を拒否。
- ・ 親族へ連絡がつくが、関係性が良くないことが分かり、関わる親族がいない。
- ・ 近隣との付き合いもなし

こんな相談もあります

相談事例

- ① 70歳代女性、一人暮らし
先行きが心細い。人との交流は苦手
- ② 60歳代女性、一人暮らし、未婚
定年を迎え、親族との付き合い無し
入院時の保証人がいない
- ③ 70歳代男性、一人暮らし、子供なし、妻が施設入所のため、週に1回面会に行く以外買い物に行く程度。誰とも会話をしない毎日

グループワーク

定期的に話をすることが
できる場所を作る

今から知りあい
を作っておく

助けてとい
う力が大切

身近な話し
相手を作る

長期的に接点を持つ

地域活動を模索している方が、
子ども食堂の活動見学に行く話
となった。
「この人とつながりたい」とい
う気持ちになった。



介護や定年を迎え、子供は
遠方、空虚感がある中、あ
んしんセンターへ相談を重
ねていた。そのころ、知人
から子ども食堂のお誘い
があり参加。そこで、子供
との関わりはもちろん、高
齢者やシニアの同世代の方
とのつながりが出て気持ち
が明るくなった。

アンケート 結果

《ご意見・ご感想》

- ・はじめにすごろくで和み話が弾はずみ、勉強になった。
- ・グループワークの話が参考になった
- ・高齢者あんしんセンター、民生委員、北区の社会ソースについて知ることができてよかった
- ・社会資源の1つとしてコンビニはこれから大きな存在なと思う
- ・考える機会になりよかった
- ・若い人が、年寄りをささえると重いので自然な成り行きにもって行けばいいかも、教育が必要かもしれない
- ・事例とその意見交換の場がもっとあればよい。

《改善》

- ・困った事例も必要ですが、こんな風に助けたこんな事例があったなどプラスの事例集も身の回りの参考になるのではないか。
- ・仕組みが良く理解できないので、そこから教えてほしい。

生活支援コー ディネーター として

- ・さまざまな働きかけの必要性について、いつもとは違う世代の方々に理解いただけた
 - ・今のうちから知り合いになっておくといったご意見からも地域の皆さまと共に考える場、話し合いの場が必要である。
 - ・個人情報の守秘は、大切だが、厳密にしていくと地域共生社会実現に相反しかねない。個人情報には触れずに地域と関わり続けていく。そのけっか、住民の利益になれば地域のつながりの良さが浮き彫りになっていく。
- 個人情報保護の大切さを理解したうえでネットワークを組むのが生活支援コーディネーターの役割